

## PC カンファレンス北海道 2020 報告

### 【開催概要】

テーマ：Beyond the Border ～ 新しい学びのスタイルへ ～

開催形態：オンライン <https://ciec.hokkaido.jp>

開催期日：2020年11月23日(月)～11月28日(土)

・オンデマンドビデオ分科会発表 … 11月23日(月)～11月28日(土)

・パネルディスカッション、分科会質疑応答 … 11月28日(土)13:00～17:00

主催：PC カンファレンス北海道 2020 実行委員会

共催：CIEC コンピュータ利用教育学会・全国大学生協連合会北海道ブロック

司会：小野真嗣（室蘭工業大学）

参加者数：70名

参加料：無料 ※論文集 1,000円

### 【プログラム】

13:00 - 13:10 開会式

13:10 - 15:00 パネルディスカッション  
(Zoom ウェビナー)

15:00 - 16:55 分科会質疑応答  
(Zoom ミーティング)

17:10 - 17:15 プレゼンテーションスキル賞発表



### 【開催報告】

例年 PC カンファレンス北海道（以下、PCCH と略）は、札幌市内及び近郊と道内各地の大学を交互に会場として開催してきた。本年度は、コロナ禍の未終息を想定し4月のオンライン世話人会にてカンファレンスのオンライン開催を決定し、主に Zoom によるオンライン会議と Slack で準備を進め、一度も対面の会議を行わずに開催に至った。従来より北海道支部の世話人会は対面とオンラインを併用してきたため特に支障は無かった。また、通常のコミュニケーションの手段を、メーリングリストから Slack へ移行したことは、リアルタイムでのコミュニケーションが円滑に行えるなどメリットは大きかった。

オンデマンドビデオ分科会発表は、11月23日(月)～11月28日(土)に PCCH2020 特設 Moodle サイト (<https://ciec.hokkaido.jp>) で、参加登録者のみアクセスできるようセキュアな環境で行なった。発表件数は20件で学生の発表も目立った。開催期間中、Moodle 上でも活発な質疑応答が行われた。

11月28日には、パネルディスカッションを Zoom のビデオウェビナー形式で開催した。登壇者も含め、40名程の参加があった。

テーマ：「新型コロナへの道内大学の対応と新たな講義スタイル」

パネリスト：桑田 喜隆 先生（室蘭工業大学）、重田 勝介 先生（北海道大学）、  
皆川 雅章 先生（札幌学院大学） ※50音順

コーディネーター：森 夏節 先生（酪農学園大学）

初めに室蘭工業大学の桑田喜隆先生から、「室蘭工業大学における新型コロナウイルス感染症対応のための ICT 環境整備」と題し、システム運営側と教員としてという両方の立場で、主に ICT の環境整備の報告があった。学習支援システムは Moodle、遠隔授業は Zoom、オンラインストレージは MS の OneDrive を利用しているとのこと。

次に北海道大学の重田勝介先生から、「北海道大学におけるオンライン授業支援と実践事例」と題し、オンライン教育の実施体制 (ICT インフラ面、ICT 教育支援面)、オープンエデュケーションセンターの支援内容、公開した「オンライン授業導入ガイド」の概要、や利用状況、FAQ による問い合わせ対応等の報告と事例紹介 (1 年生向け情報教育、選択科目) があった。

最後に札幌学院大学の皆川雅章先生から、オンライン授業の実施概要 (使用 LMS は Moodle) と ICT 利用支援学内組織体制 (電子計算機センター、運営委員会) の説明、マイクロソフト包括ライセンス契約や技術職専門職員の存在、学生によるサポートデスクの設置が有利に働いたとの事等や、前期オンライン授業に対する学生のアンケート調査結果の報告があった。

その後のパネルディスカッションでは、オンライン授業の良い側面をどう活かして行くかについて議論が行われ、学習データの活用促進の方向性や実際の学習データの分析例やオンライン教育の利点と欠点についての話題や大学における今後のオンライン教育の方向性の話題で大いに盛り上がった。

参加者からもウェビナーの Q&A 機能を使って質問を募り、パネリストから回答してもらうなど双方向のやり取りが活発に行われた。

分科会質疑応答は、一人 5 分でリアルタイムによる質疑応答を行なった。中々参加者からの質問が出ないなどの問題はあったが、司会からの質問や Moodle 上での質問へ口頭で回答してもらうなどで対応した。

学生プレゼンテーションスキル賞は、西島花音さん (公立千歳科学技術大学) の「教育教材と教育補助教材に関するデジタル漫画の構造的差異の考察」に決定した。

謝辞

本カンファレンスの開催にあたり、ご協賛いただいた富士通株式会社、株式会社沖データ、合同会社三玄舎、会場をご提供いただいた酪農学園大学に感謝申し上げます。

文責：CIEC 北海道支部長 高瀬敏樹 (市立札幌旭丘高等学校)

